



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社

コード番号 6737 URL <https://www.eizo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 恵比寿 正樹 TEL 076-275-4121

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日 2018年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	34,711	△9.4	2,015	△37.9	2,386	△40.6	1,738	△41.4
2018年3月期第2四半期	38,330	△3.0	3,246	△27.4	4,015	1.2	2,964	△4.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 5,161百万円 (△8.3%) 2018年3月期第2四半期 5,630百万円 (226.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	81.55	—
2018年3月期第2四半期	139.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	122,106	95,723	78.4	4,489.71
2018年3月期	119,328	91,521	76.7	4,292.63

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 95,723百万円 2018年3月期 91,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2019年3月期	—	50.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,500	△11.4	5,200	△39.2	5,800	△39.0	4,300	△39.8	201.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	22,731,160株	2018年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,410,592株	2018年3月期	1,410,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	21,320,619株	2018年3月期2Q	21,320,654株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は2018年10月31日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移し、景気は緩やかに回復しました。また、米国では個人消費や設備投資は堅調に推移し、景気は引き続き拡大しました。日本では堅調な雇用・所得情勢を背景に個人消費は持ち直しており、景気は緩やかながらも回復基調が続きました。

このような状況の下、当社グループは「開発創造型企業」として、テクノロジーの可能性を追求し、顧客に新たな価値を認めていただける製品を他社に先駆けて創造、提案し、顧客の満足を得ることを経営の基本方針とし、映像技術を核とした世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い製品を基に、市場や顧客に応じた最適な製品及びシステムソリューションを提案する、「Visual Technology Company」への展開を進めております。

具体的には、2018年度を初年度とする第6次中期経営計画を策定し、「撮影」、「記録」、「配信」、「表示」を包括した「Imaging Chain Innovation」によるトータルソリューションで、ヘルスケア、クリエイティブワーク、V&S (Vertical & Specific) の事業領域の更なる拡大及び新市場の創出に取り組んでおります。

2018年3月に買収したカーナシステム(株)では、当社とのシナジー効果を早期に創出する取組みを進めており、手術室向けに加え、新しい市場に対しても映像記録・配信・編集・画像解析も含めたハードウェアやソフトウェアの展開を図るなど、事業活動のさらなる強化を図っております。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、B&P (Business & Plus) やヘルスケア市場向け等の売上高は、例年需要が下半期に偏る傾向がある中、ヘルスケア市場を中心に海外向けの販売が好調であったこと等により、堅調に推移しました。一方で、アミューズメントは前年同期に人気タイトル機種の販売があったことにより、前年同期を大きく下回った結果、全体の売上高は、34,711百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

これらにより、売上総利益は前年同期比で560百万円減少しましたが、ヘルスケア、クリエイティブワーク及びV&Sの商品構成の比率が高くなったことにより、売上総利益率は32.6%と前年同期比1.6ポイント上昇いたしました。販売費及び一般管理費は、先行的な研究開発を引き続き行ったことやカーナシステム(株)に係る費用及びのれん償却費等の要因により670百万円増加し、営業利益は2,015百万円（前年同期比37.9%減）、経常利益は2,386百万円（同40.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,738百万円（同41.4%減）となりました。

市場別の売上は次のとおりです。

(単位：百万円)

市場	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
B&P (Business & Plus)	8,044	21.0	8,174	23.6	130	1.6
ヘルスケア	13,672	35.7	14,296	41.2	623	4.6
クリエイティブワーク	2,751	7.2	2,773	8.0	21	0.8
V&S (Vertical & Specific)	3,638	9.5	3,331	9.6	△306	△8.4
アミューズメント	7,288	19.0	4,603	13.3	△2,685	△36.8
その他	2,935	7.6	1,532	4.3	△1,402	△47.8
合計	38,330	100.0	34,711	100.0	△3,619	△9.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

[B&P (Business & Plus)]

売上高は、8,174百万円（前年同期比1.6%増）となりました。欧州での販売が堅調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。引き続きドイツ向けの販売が好調に推移しております。

[ヘルスケア]

売上高は、14,296百万円（前年同期比4.6%増）となりました。海外においては、内視鏡用モニターや手術室向けの販売が欧州及び北米で堅調に推移したこと、また、中東や東南アジアでの販売強化の効果もあり、前年同期を上回る売上高となりました。国内では、インテグレーション事業の販売が伸び悩んだことで、前年同期を下回る売上高となりました。

[クリエイティブワーク]

売上高は、2,773百万円（前年同期比0.8%増）となりました。海外・国内ともに、HDR対応モニターや4Kモニター等の販売が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

[V&S (Vertical & Specific)]

売上高は、3,331百万円（前年同期比8.4%減）となりました。海外では、航空管制（Air Traffic Control:ATC）市場及び監視向けの販売が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。国内では、監視及び船舶向けの販売が堅調に推移したものの、前年同期に金融システム向けモニターの大型案件があったことにより、V&S全体では前年同期を下回りました。

[アミューズメント]

売上高は、4,603百万円（前年同期比36.8%減）となりました。遊技人口の減少や規則改正等によりアミューズメントの市場環境は厳しい状況が続いております。この状況下で、前年同期に人気タイトル機種のリリースがあったことにより、売上高は前年同期を下回りました。

[その他]

売上高は、1,532百万円（前年同期比47.8%減）となりました。主に、アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が減少したことによります。

(2) 財政状態に関する説明

資産及び負債の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は2,778百万円増加し122,106百万円、負債の部は1,422百万円減少し26,383百万円となりました。純資産の部は4,201百万円増加し95,723百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の連結業績予想につきましては、アミューズメント市場における規則改正への対応により新機種の市場投入が翌期にずれ込む可能性があることから、2018年5月8日公表の通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。なお、当該連結業績予想数値の修正に関する事項は、本日（2018年10月31日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

(連結業績予想)

通期	売上高	74,500百万円	(前回発表予想比	11.3%減)
	営業利益	5,200百万円	(前回発表予想比	35.8%減)
	経常利益	5,800百万円	(前回発表予想比	31.8%減)
	当期純利益	4,300百万円	(前回発表予想比	31.7%減)

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,394	9,095
受取手形及び売掛金	22,538	15,545
有価証券	12,589	14,305
商品及び製品	10,280	11,783
仕掛品	1,985	2,929
原材料及び貯蔵品	12,511	11,129
その他	868	947
貸倒引当金	△131	△119
流動資産合計	69,036	65,617
固定資産		
有形固定資産	12,171	13,869
無形固定資産		
のれん	3,163	2,796
その他	767	613
無形固定資産合計	3,930	3,409
投資その他の資産		
投資有価証券	33,071	38,116
その他	1,118	1,093
投資その他の資産合計	34,189	39,210
固定資産合計	50,291	56,489
資産合計	119,328	122,106
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,619	6,043
短期借入金	1,957	1,982
1年内返済予定の長期借入金	26	—
未払法人税等	1,895	189
賞与引当金	1,535	1,206
製品保証引当金	1,829	1,811
その他	3,794	3,086
流動負債合計	18,659	14,319
固定負債		
長期借入金	29	1,321
役員退職慰労引当金	101	101
リサイクル費用引当金	820	767
退職給付に係る負債	3,121	3,191
その他	5,074	6,681
固定負債合計	9,147	12,064
負債合計	27,806	26,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	68,280	69,059
自己株式	△2,662	△2,662
株主資本合計	74,357	75,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,506	20,571
為替換算調整勘定	△227	101
退職給付に係る調整累計額	△115	△87
その他の包括利益累計額合計	17,163	20,586
純資産合計	91,521	95,723
負債純資産合計	119,328	122,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	38,330	34,711
売上原価	26,458	23,400
売上総利益	11,871	11,310
販売費及び一般管理費	8,624	9,295
営業利益	3,246	2,015
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	270	333
為替差益	399	—
その他	124	141
営業外収益合計	797	477
営業外費用		
支払利息	0	2
売上割引	24	19
為替差損	—	68
その他	4	15
営業外費用合計	29	106
経常利益	4,015	2,386
税金等調整前四半期純利益	4,015	2,386
法人税、住民税及び事業税	1,057	308
法人税等調整額	△6	339
法人税等合計	1,050	648
四半期純利益	2,964	1,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,964	1,738

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	2,964	1,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,985	3,065
為替換算調整勘定	623	328
退職給付に係る調整額	55	28
その他の包括利益合計	2,665	3,422
四半期包括利益	5,630	5,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,630	5,161
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,015	2,386
減価償却費	1,117	1,004
のれん償却額	165	367
引当金の増減額 (△は減少)	△273	△423
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	109	95
支払利息	0	2
売上債権の増減額 (△は増加)	1,815	7,098
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,398	△846
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,782	△1,638
その他	△772	△1,195
小計	2,996	6,851
利息及び配当金の受取額	273	335
利息の支払額	△0	△3
法人税等の支払額	△1,007	△1,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,261	5,255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,809	△2,629
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△678	△666
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	300
その他	14	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,473	△2,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,298
長期借入金の返済による支出	—	△55
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△853	△959
財務活動によるキャッシュ・フロー	△853	282
現金及び現金同等物に係る換算差額	202	99
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△863	2,701
現金及び現金同等物の期首残高	24,794	20,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,930	23,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

3. 補足情報

(市場区分について)

区分	主要用途
B&P (Business & Plus) ビジネス用途向け及びゲーム等のエンターテインメント市場向け	金融機関、公共機関、文教施設、一般オフィス、ハイエンド・ホームユース
ヘルスケア 医療環境向け	医用画像、診断用途、手術室用途
クリエイティブワーク グラフィックス用途向け	出版・印刷・写真編集、映像制作
V&S (Vertical & Specific) 様々な環境下で使用可能な多様な業種・分野向け	航空管制(Air Traffic Control:ATC)、船舶、監視(Security & Surveillance)、その他産業用途
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発